

--	--	--	--

アスファルトの抽出試験(遠心分離法)		試験報告用紙	
試料番号	S1-1(3.00m~3.70m)	試験年月日	2019年11月26日
調査名・目的	SYSTEM21 最高級プロフェッショナル土質調査解析ソフト 長年の実績で信頼と安定したソフトを実現	試験者	井上 幸子
混合物の種類	密粒度アスコン(20)		
混合物の使用場所	静岡県春日部市豊中町	溶剤の種類	三塩化エタン
試料採取場所	愛知県名古屋市内		

試料測定番号		1	2	3	4
① はちまたは容器の質量(g)		300.0	301.2	302.1	303.5
② (はちまたは容器+試料)質量(g)		1212.6	1215.6	1220.2	1221.3
③ 試料質量(g)	②-①	912.6	914.4	918.1	917.8
④ ろ紙質量(g)		50.6	51.3	52.3	53.2
⑤ 抽出後のろ紙質量(g)		120.7	121.6	121.8	121.9
⑥ ろ紙に付着したフィルター質量(g)	⑤-④	70.1	70.3	69.5	68.7
⑦ (はちまたは容器+抽出後の骨材)質量(g)		1000.5	1004.3	1005.6	1002.8
⑧ 抽出後の骨材質量(g)	⑦-①	700.5	703.1	703.5	699.3
⑨ 付着流出したフィルター質量(g)	⑤+⑥	82.6	72.8	77.9	80.2
⑩ 全抽出骨材質量(g)	⑧+⑨	783.1	775.9	781.4	779.5
⑪ アスファルト質量(g)	③-⑩	129.5	138.5	136.7	138.3
⑫ アスファルト含有率(%)	⑪/③×100	14.19	15.15	14.89	15.07
⑬ 平均値(%)		14.83			

抽出液中のフィルターの定量

試料測定番号	加圧法			焼却法					
	A	B	⑩=B-A	C	D	E	F	G=F-E	⑪=G×C/D
	ろ紙の質量(g)	ろ過後のろ紙質量(g)	流出したフィルター質量(g)	抽出液容積(ml)	定量液容積(ml)	灼熱さら質量(g)	定量液焼却後のさら質量(g)※	残渣物質量(g)	流出したフィルター質量(g)
1	50.0	60.0	10.0	50	40	50.0	60.0	10.0	12.5
2	55.0	65.0	10.0	52	42	60.0	62.0	2.0	2.5
3	53.0	66.0	13.0	53	57	52.0	61.0	9.0	8.4
4	54.0	65.0	11.0	60	52	53.0	63.0	10.0	11.5

備考 ※定量液焼却後いったん冷却し、炭酸アンモニウム飽和溶液1mlを加え、一定量となるまで熟し、冷却後にさらごと計量した質量

遠心分離とは、強大な遠心力をかけて、試料を構成する成分を分離・分画すること。  
 アスファルトは、石油アスファルトと天然アスファルトに大別される。  
 アスファルト混合物とは、粗骨材、細骨材、フィルターおよびアスファルトを所定の割合で混合した材料です。  
 アスファルトは、舗装以外に、防水材として、地下構造物、水槽、タンクなどへ利用。  
 ろ紙は、溶剤におかされず、フィルター分の微細部分をろ過しないものを用いる。